

12月1日 薬師寺東京別院写経ともんじゃ焼き

9:45薬師寺東京別院入口集合(JR 五反田駅より5分) 品川区東五反田5丁目15-17

写経参加:高木 伊藤 尾崎 関岡 瀬尾 鈴木 小林 手塚 内藤 山田 風間 山本

もんじゃ焼き参加:高木 内藤 伊藤 瀬尾 鈴木 小林 手塚 風間 山本

10:00—12:00 薬師寺東京別院にて般若心経写経 ¥2,000+納経料

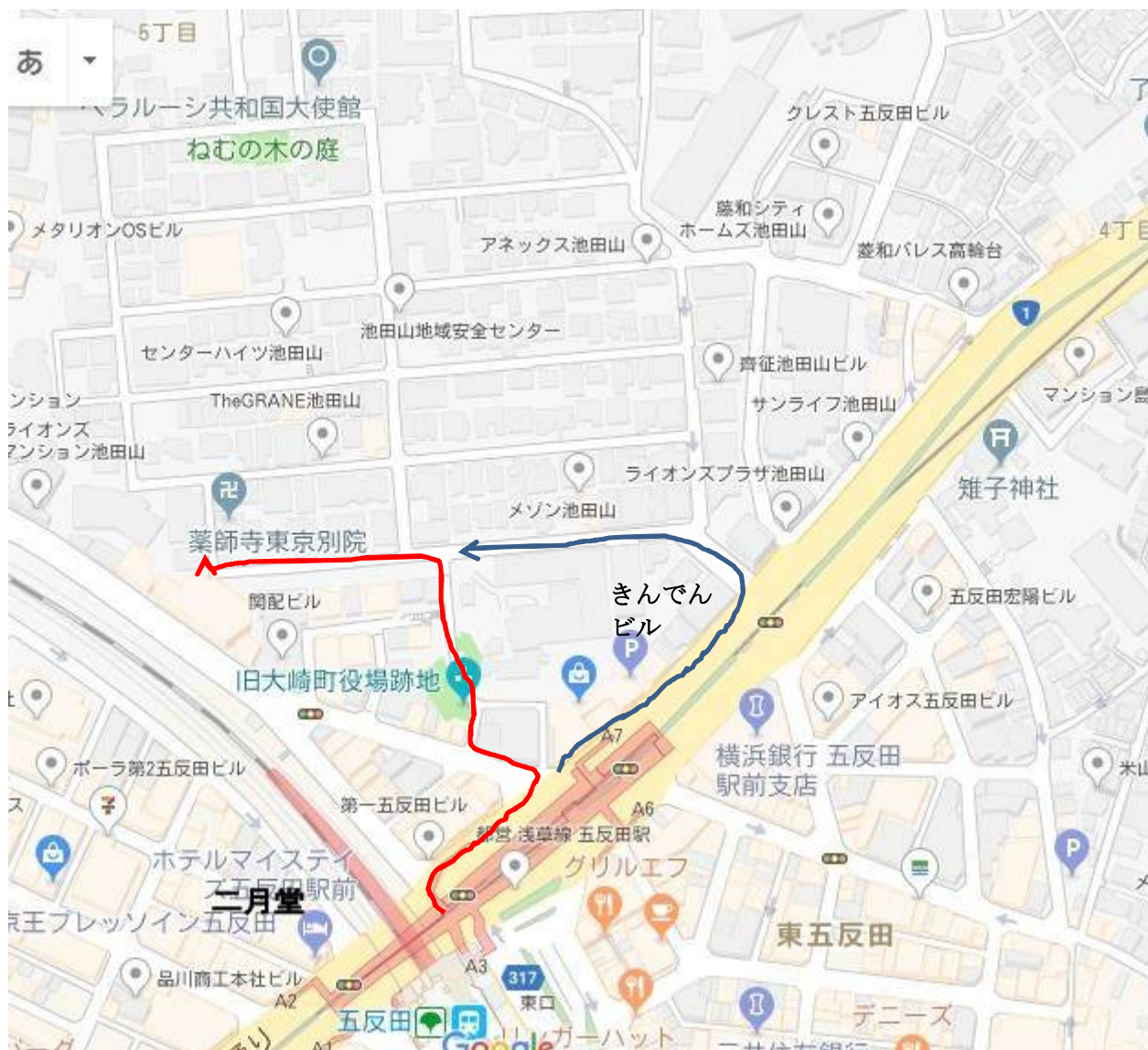
12:00—13:00 軽いランチ(二月堂そば)東京都品川区西五反田2-6-3

13:00~14:30 散策 散策、ねむの木の庭(皇后様実家)・池田山公園・芝増上寺子院群
・都立庭園美術館・目黒駅

目黒駅・山手線 4分・大崎駅・りんかい線(24分 390円)・・・新木場

15:00ごろ新木場駅シャトルバス乗り場、シャトルバスにて、江戸前汽船乗船場まで移動

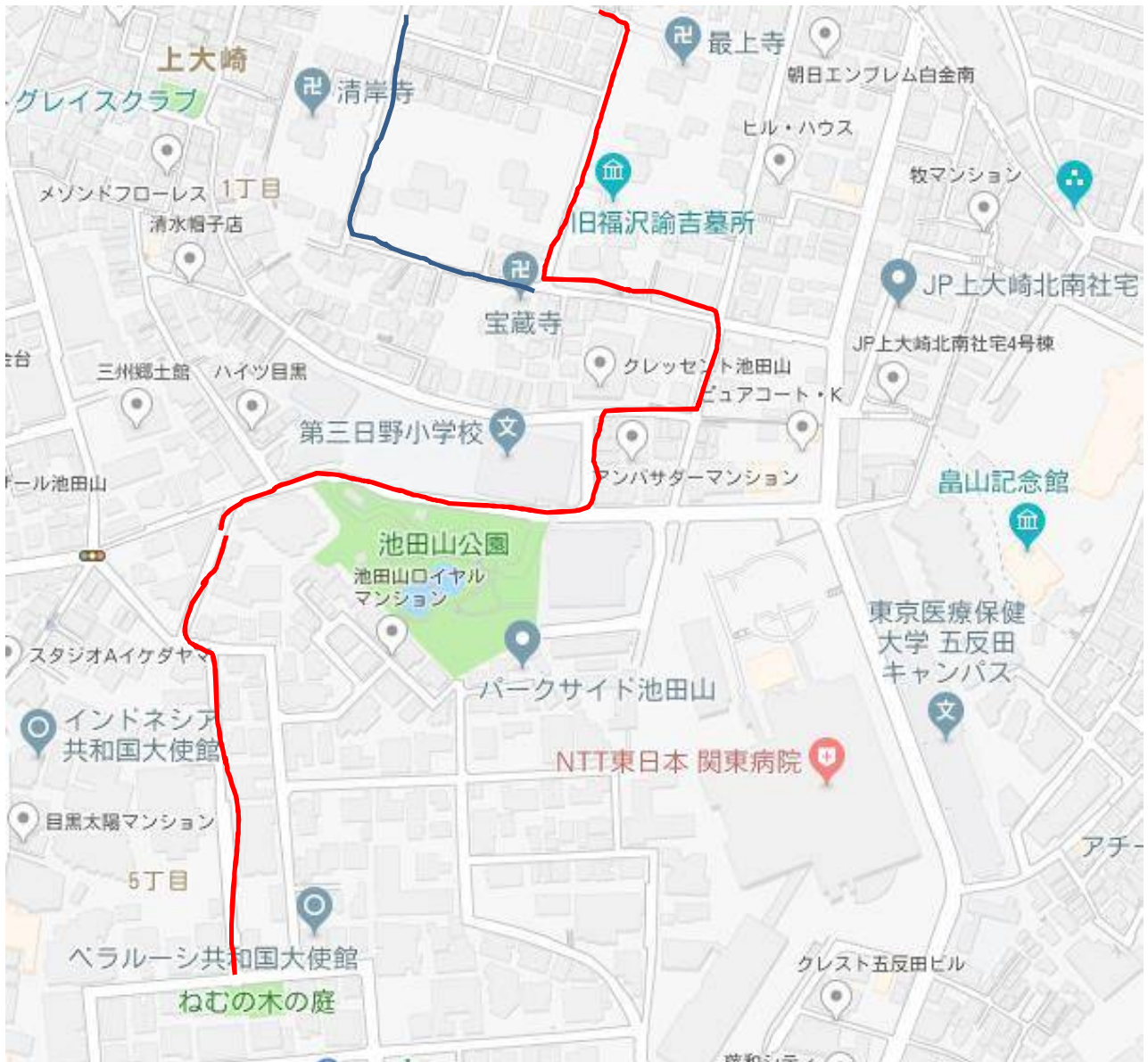
16:00 屋形船もんじゃ焼きとお台場周辺約2時間コース 冷暖房完備です



散歩道

- しながわコース⑦ 池田山公園～小さな寺町をめくり緑豊かな庭園美術館へ
『品川区の代表的なお屋敷町（品川五山の一部）を巡るコース』
- ◆ JR山手線五反田駅～お屋敷町を抜けJR目黒駅まで
 - ◆ 所要時間 約1時間





雉子神社 <https://jinjamemo.com/archives/post-3173.html>

御祭神: 日本武尊・天手力雄命・大山祇命 東京都品川区東五反田 1-2-33□

当社鎮座の起源は悠久な昔で御祭神日本武尊は景行天皇四十年、天手力雄命は天智天皇六年、大山祇命は花園天皇御即位の冬、延慶元年始めて神禮ありと社傳にあります。

御社号は古くは荏原宮と云い、(明治初年に神社後方の丘から出た古石に「荏原宮也」と彫刻されて居り、この石は現在社蔵しています。) 文明年中には大鳥明神、山神の社とも称し、近郷村民の崇敬を集めて居りましたが、慶長慶長年間に徳川三代將軍家光公がこの地に鷹狩りに来られた時、一羽の白雉がこの社地に飛び入ったのを追って社前に詣でられ、まことに奇瑞であると、「以後雉子宮と称すべし」とのお言葉があつてから、神威愈々赫々として江戸社寺名所にその名を連ね、明治維新に雉子神社と改称して現在に及んでいます。(御社紋の葵はこの由来によってついていますが、正徳年中に江戸大奥から御奉納になった御神像奉蔵の厨子の御帳にも葵の紋が縫いとりされて居ります。)

当社は荏原郡上大崎村、下大崎村、谷山村、永峯町、六軒茶屋町、現在の東五反田一、二、三、四、五丁目、上大崎一、二、三、四丁目、西五反田一、二、三丁目一圓の鎮守で、江戸時代には江戸近郊大崎の地に諸大名が寓居、下屋敷、別邸を構えるものが多く、松平日向守信之郷が社号額(戦災により焼失)を奉献されるなど其の崇敬奉賛によって御神徳は弥が上に発揚されました。

神域は昔から現在の処で、明治初年までは神社の北東側は丘をなし、老松が天に聳え、翠の篠笹などが生い繁り、いかにも神寂びた霊域でありました。その丘を戸隠山と称していましたが、これは此処に天手力雄命をお祀りした社殿があった為めで、何時の頃か御本社に合祀したその社跡を残したものでもあります。又当社の西南方は廣々とひらけて、青田がつづき、池が散在し、芦や萩が生い茂り、その間を中原街道が通っていました。又境内は紅楓が多く、文人墨客が杖をひき、参詣されるものが多かったのであります。樹々がうっそうと繁る境内は清々しく、雉の声も神寂びて聞かれた神の森も時代の推移と共に、田園大崎の村々も都市化し、社前の中原街道（現在国道放射一号線）は明治三十八年、昭和五年、昭和四十年と三度道路の改修擴幅が行われ、境内は次第に狹隘となり、昔の面影を失いましたが神苑の整頓、神将東郷平八郎元帥筆の社号額をかかげる石造大鳥居の建立、大東亜戦争に戦災を受けた社殿の復興、神楽殿社務所其他の新築等氏子崇敬者諸氏の奉賛によって愈々神威の尊嚴風致の森嚴を加えました。明治維新までは白雉山宝塔寺が別当職でありましたが、明治五年十一月村社に定められ、明治三十九年神饌幣帛供進社に指定され、明治四十三年十月三日に上大崎村に鎮座した無格社三島神社を合祀し、昭和十年東京都公費供進社となり、戦後宗教法人として現在に及んでいます。（頒布の資料より）家光が当地周辺に鷹狩りに来た際、一羽の白雉が社地に飛び入った。それを追って家光は社前に詣で、村民に当社の社号を尋ねる。村民は「大鳥明神」とであると答えたところ、これがまことに奇瑞であると、家光より「以後、雉子宮と称すべし」と命じたと云う。



ねむの木の庭



池田山公園入口

ねむの木の庭 <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000000400/hpg000000351.htm>

皇后陛下のご実家、旧正田邸の跡地に整備した公園であり、園名は皇后陛下の高校生時代に作られた詩からつけられたものです。

この公園には、ご成婚当時の門を再現しているほか、皇后さまゆかりの樹木や、お歌の中で詠まれた樹木・草花を多数植え、訪れていただいた方それぞれが皇后さまに思いをは馳せていただけるようにしました。公園のシンボルとなるねむの木は、園内のどの位置からも眺められ、歩みを止めた場に植栽されている花々は、様々な違った姿を私達に見せてくれます。中でもプリンセス・ミチコは、訪れる方々の人気の的になっています。 トイレは有りません。

池田山公園 <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000000400/hpg000000344.htm>

池田山公園は品川区東五反田にある品川区立の公園で、ここ最近では東京都内の有名なパワースポットの1つですが、もともとは「大崎屋敷」と呼ばれた岡山藩池田家下屋敷跡の奥庭の部分を整備した和風庭園です。 廃藩置県後も、旧岡山藩主池田家の屋敷として使用されていましたが、戦後はしばらく個人の邸宅でした。 その後品川区が庭園保護のために購入しました。そして公園として整備し昭和 60 年に区立公園として開園しています。 庭園自体は、池を中心とした池泉回遊式庭園ですが、高台部の休憩ゾーンから眺める景色もなかなかでした。庭園ではなく、公園というにはちょっと違和感を感じるようです

芝増上寺子院群 <http://www.sinakan.jp/entry-info.html?id=34824>

芝（港区）にある増上寺は、江戸時代徳川家の菩提寺として大きな勢力を持っていた。

この上大崎1丁目に集中する増上寺ゆかりの寺々の多くは、江戸時代の初めに芝周辺に創建された増上寺の塔頭で、江戸時代初期の明暦の大火の後、麻布狸穴（港区）に集められていた。

これらの寺の土地が、3代将軍徳川家光の息子である甲府宰相綱重の屋敷になるため、幕府の命で寛文元年（1661）に、現在地に移転した。当時の公的記録には「増上寺下屋敷」と記載されている。

当初は、**戒法寺**（かいほうじ）**本願寺**（ほんがんじ）**最上寺**（さいじょうじ）**光取寺**（こうしゅじ）**清岸寺**（せいがんじ）**正福寺**（せいふくじ）**善長寺**（ぜんちょうじ）**了福寺**（りょうふくじ）の8カ寺であったがのち、正福寺、善長寺は、その後に移転してきた**常光寺**、**隆崇院**と合併して名称を変えた。また、了福寺は廃寺となり、跡に**宝蔵寺**（ほうぞうじ、増上寺の子院ではない）が移転してきた。

さらに昭和6年（1931）に、増上寺山内から**月窓院**（げつそういん）が移転してきたため、増上寺子院群は現在も8カ寺でこれに宝蔵寺を加えた9カ寺が上大崎の寺町を形成している。

常光寺には旧福沢諭吉墓所がある。



国立科学博物館附属自然教育園 <http://www.ins.kahaku.go.jp/index.php> (65 歳以上無料)

東京都庭園美術館 <http://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/>

1933 年（昭和 8）に建設されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸とその空間をいかした展覧会、そして緑豊かな庭園が調和したユニークな美術館として、1983 年（昭和 58）の開館以来、多くのみなさまに親しまれてきました。そして 2014 年（平成 26）にはホワイトキューブのギャラリーを備えた新館が完成し、80 年余の歴史と伝統に、新たな創造空間が加わりました。今後は文化財保護と新しい価値の創造を目指し、みなさまに芸術作品の鑑賞の機会を提供してまいります。 庭園のみ入場料金 100 円

開催中の展覧会 「装飾は流転する」 Decoration never dies, anyway

2017 年 11 月 18 日（土） - ・ ・ ・ 2018 年 2 月 25 日（日）

入場料：550 円（65 歳以上） ・ ・ ・ ・ 庭園も入場可

高福院の概要 https://tesshow.jp/shinagawa/temple_uosaki_kofuku.html

高野山真言宗の高福院は、高野山無量寿院末です。慶安元年（1648）に阿闍梨頼順が開山しました。隣接している誕生八幡神社のもと別当寺、御府内八十八ヶ所霊場 4 番札所です。

誕生八幡神社 https://tesshow.jp/shinagawa/shrine_uosaki_tanjo.html

誕生八幡神社は、品川区上大崎にある八幡神社です。誕生八幡神社は、文明年間に太田道灌が夫人の懐妊にあたり筑前国（福岡県）の宇美八幡を当地に勧請したものが当社の始まりと云われています。明治維新後、雉子神社の摂社となり、明治 42 年に稲荷神社を合祀、戦後社号を誕生八幡神社と改称したといわれています。

